

福井県坂井市：産官金パートナーシップで築くオール坂井脱炭素イノベーションプラン
～テクノポート福井を中心とした 地域エネルギー循環都市の実現～



事業計画の特徴

- 事業者向け太陽光導入においては、臨海工業地帯であるテクノポート福井に位置する事業者を優先採択するとともに、余剰電力を近隣工場へ融通させた送電を行うことで、**製造業における脱炭素経営を推進し、テクノポート福井への産業誘致**につなげる。
- 本事業を契機に包括連携協定を発展させ、産学金連携組織「**ゼロカーボンさかいコンソーシアム**」を設立。商工会、青年会議所と連携してネットワークを広げ、コンソーシアムの枠組みにおいて、**中小企業向けの省エネ診断、CO2排出量計算を支援**。
- 個人、事業者向け薪・ペレットストーブ及び事業者向けバイオマスボイラーの導入により、市内で生産されるC・D級木材約20,000m³/年のうち約1割の活用が見込まれる。

※2030年度までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）		再エネ：9,480kW
取組（個人）	規模	
薪・ペレットストーブの導入	・40件	
取組（事業者）	規模	
太陽光発電設備の導入（PPA等）	・41件 ・9,000kW	
ソーラーカーポートの導入	・12件 ・480kW	
バイオマスボイラーの導入	・2件	
薪・ペレットストーブの導入	・10件	
事業計画の概要（公共）		再エネ：397kW
取組	規模	
高浄水場跡地における太陽光発電設備の導入（PPA等）	・1カ所 ・397kW	

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
9,877kW	79,776 t-CO2	31.8億円	8.6億円	令和7年度 ～ 令和11年度

取組のイメージ



令和7年2月に、「ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定」を市内19事業者と坂井市が締結



臨海工業地帯「テクノポート福井」